

ひきこもり当事者及び家族の居場所づくりについて

区は、昨年4月にひきこもり支援専用相談窓口を開設し、包括的なひきこもりの相談対応及び支援を行い、ひきこもり当事者及び家族の心身や生活の安定・向上に取り組んできました。

本年度は、ひきこもり当事者及び家族が地域社会や人とのつながりを持てるよう、居場所づくりを実施します。

1 実施の概要

(1) 当事者向け居場所づくり

ア 実会場での居場所づくり

8月から月1回、区有施設（高輪区民センターなど）を会場に、当事者が他者との関わりを持つきっかけの場となる交流機会を提供します。このほか、交流を望まない参加者向けのスペースの提供、相談支援員による相談支援を行います（定員：各回20人）。

イ メタバース空間での居場所づくり

8月から月1回、区が管理する「メタバース総合支所」を活用した専用空間で居場所づくりを実施します。居場所内に「交流スペース」を設置し、当事者同士による音声やチャット等を介した自発的な交流を支援するとともに、「個別相談室」を設置し、参加者への相談支援を行います。このほか、交流を望まない参加者向けの「休憩スペース」、区の実施（ポスター、リーフレット等）を掲出する「情報提供スペース」を設置します。

《メタバース》

メタバースとは、インターネット上に構築された仮想空間で、ユーザーはアバター（自分の分身として表示されるキャラクター）を通じてコミュニケーションや活動を行います。

外出せずに自宅にしながら、パソコンやスマートフォンから気楽に参加でき、他のユーザーと顔を合わせることなく、気軽に対話や交流を行えることから、心理的な負担が軽減されます。

《メタバース空間イメージ》



交流スペース



個別相談室



休憩スペースと情報提供スペース

《アバターの例》



参加者

相談支援員

(2) 家族向け居場所づくり

ア 居場所づくり

6月から月1回、区有施設（リーブラ多目的室、芝浦区民協働スペースなど）を会場に、講師による講演と家族間でひきこもりに至った経緯や悩み等を対話し交流する機会を提供します（定員：各回20人）。

イ 家族教室

6月から12回、区有施設（麻布区民協働スペースなど）を会場に、ワークショップ型の講座を開催します（定員：各回20人）。

2 実施体制

1（1）ア・イ及び1（2）イは、プロポーザル方式により選考した民間事業者（株式会社キズキ）に委託し、専門資格を有する相談支援員やファシリテーターを配置します。

1（2）アは、港区社会福祉協議会に業務を委託し、相談支援員を配置します。

3 今後のスケジュール（予定）

令和7年6月 家族向け居場所づくり及び家族教室の開始

8月 当事者向け居場所づくり（実会場及びメタバース空間）の開始